

■フランス、スペイン：2009年1月23日・24日、暴風雨により広範囲で停電

2009年1月23日から24日にかけて、スペイン北東部からフランス南西部にかけて暴風雨が吹き荒れ、鉄塔や電柱が倒壊するなどして、広範囲で停電が発生した。フランスでは、南西部を中心に170万軒で停電となった。RTE社（送電会社）やERDF社（配電会社）による復旧作業の結果、26日までには停電軒数は40万軒に減少したが、1週間が経過した1月末時点においても9万軒が停電している。変電所や送電設備への影響が大きく、完全復旧までには相当の時間を要するものと見られている。スペインでは、400kVと220kVの送電線17回線が影響を受けた他、強風による運転停止で風力が当初の想定に比べて600万kWほど少なくなり、13ヶ所の火力発電所を急遽投入することとなった。特にスペインでは配電線への被害が大きく、フランスとの国境に接する北東部で数十万軒が停電となった。